

令和４年度 第４回山梨県最低賃金専門部会 議事録（一部議事要旨）

１ 日 時：令和４年８月１２日（金）午後１時３０分 ～ 午後４時３８分

２ 場 所：山梨労働局 １階大会議室

３ 出席者：公益代表 伊藤委員、今井委員、反田委員
労働者代表 小林委員、佐々木委員、白倉委員
使用者代表 一之瀬委員、川島委員、長谷川委員
事務局 岡村労働基準部長、井上賃金室長、平出室長補佐

４ 議 事

（１）山梨県最低賃金改正決定審議

（２）その他

５ 審議会内容

（賃金室長）

ただいまから、山梨地方最低賃金審議会第４回山梨県最低賃金専門部会を開催いたします。

本日は、Ｗｅｂ会議システムにより御出席をいただいている、労働側、小林委員を含めまして、全委員の皆様にご出席いただいておりますので、最低賃金審議会令第５条第２項の規定によりまして、審議会を開催し、決議することができますことを御報告いたします。

それでは、反田部会長、以後の議事進行をお願いいたします。

【 （１）山梨県最低賃金改正決定審議 】

（反田部会長）

それでは早速、議題（１）の山梨県最低賃金改正決定審議に入りたいと思いますが、審議に先立ちまして、事務局から、各側の控室につきまして、説明をお願いします。

（賃金室長）

本日、労働者側、使用者側それぞれに待機いただく控室につきましては、第３回専門部会と同様に、労働者側は「４階の相談室」、使用者側は「３階の相談室」となっております。

待機いただく際には、事務局が御案内いたします。

また、公益委員による各側個別の金額折衝を行っていただく際には、それぞれ待機いただいている部屋に事務局が御案内に参りますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

（反田部会長）

それでは、議題（１）の「山梨県最低賃金改正決定審議」に入ります。

具体的な金額につきまして、労使の間で隔たりがあり、御検討をお願いしたところです。

その後の検討結果につきまして従来の例に従いまして、公益委員による各側個別の意見聴取に入ります。

大変恐縮ですが、各側の委員には、一旦別室で待機をお願いします。

しばらくお時間をいただいた後、各側の意見聴取に入らせていただきます。

それでは、ここで、一旦専門部会の審議を中断いたします。

(以下、金額審議を実施。)

概要は、以下のとおり。

1 公益委員による事前打合せ

2 労働者側と折衝

(1) 労働者側の主張

前回部会後検討した結果、全会一致なら目安どおりで応じるが、全会一致でなければ目安プラス1円としたい。

プラス1円は、Bランク内での格差是正を図りたいためである。

(2) 公益委員説明

他県との関係も理解するが目安金額での検討を求めたい。

(3) 労働者側の主張

ここ数年の審議では使用者側に目安額でどうか検討を求めたが、使用者側が譲らず、労働者側が目安額まで譲る結果となっている。

全会一致以外の目安額での結審はできない。

3 使用者側と折衝

(1) 使側の主張

前回部会後検討した結果、経団連の中小の春闘結果では平均1.92%など、第4表の1.2%より高く、その分は支払能力が認められること、甲府市の消費者物価指数が6月は2.6%上がっており、労働者の生活実態にも配慮が必要とし、2.6%を根拠として、プラス23円としたい。

目安自体、支払い能力を考慮したというが考慮されたとは思えない一方、生計費を過剰に考慮しており、納得ができない。

(2) 公益委員説明

労働者側は、全会一致なら目安どおり、全会一致でなければ目安プラス1円としている。

プラス1円は、Bランク内での格差是正を図りたいためとしている。

労働者側からの提案に応じ目安額での検討をお願いしたい。

(3) 使用者側主張

山梨がBランクに変更された時からランク付けに疑問を感じており、実質はCランク相当と考えている。

労働側から主張のあるBランクの中での差の解消という考え方は納得できない。

全会一致のため考慮するとしても、Cランクの30円なら検討もできると考える、それが地域の実情を考慮するということではないか。

目安額には応じられないため、採決してもらって構わないと考える。

【金額審議を終了し、全体の会議を再開】

(賃金室長)

使用者側長谷川委員が、全体の会議が始まる前に、業務の都合により退席されましたが、定足数は満たしていることから、決議することができることを報告します。

(反田部会長)

専門部会を再開します。

これまで、労使双方に個別にお伺いしまして、各側の見解及び意見をもとに、何回にもわたって個別折衝を重ねた結果、ここに公益案を取りまとめるに至りました。

それでは公益案を提示いたします。

公益案を配付していただきたいと思います。

(反田部会長)

労働者代表委員、使用者代表委員の基本的見解を踏まえ、数次にわたって個別折衝を重ねた結果、下記のとおり公益委員案を取りまとめるに至りましたので、ここで提示します。

1 時間、898 円

引上げ額、32 円、引上げ率 3.7%。

(反田部会長)

それではこの公益案について採決を致します。

慣例により、反対から伺います。

公益案に反対の委員は挙手を願います。

使用者側 2 名ですね。

ありがとうございました。

公益案に賛成の委員は、挙手を願います。

労働者側 3 名、公益 2 名ですね。

ありがとうございました。

公益案に保留の委員は、いませんね。

公益案に賛成 5 名、反対 2 名で全会一致での結審とはなりませんでした。出席委員の過半数の賛成により、公益案どおり可決させていただきました。

それでは、ただいま決定いたしました公益案を、部会報告として本審に報告したいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。

(各側委員)

(異議なし)

(反田部会長)

ありがとうございました。

それでは、この専門部会としての結論につきましては、8 月 23 日に開催される本審に、部会報告として報告いたします。

その後、本審で決議を行い、労働局長へ答申を行うことになります。

事務局において公示等の所定の手続を行った後に、指定日での発効を予定しております。

この報告案を事務局から配付していただき、案文の朗読をお願いします。

(賃金室長)

報告案につきまして、朗読させていただきます。

令和4年8月12日。

山梨地方最低賃金審議会会長反田一富殿。

山梨地方最低賃金審議会山梨県最低賃金専門部会部会長反田一富。

山梨県最低賃金の改正決定に関する報告書。

当専門部会は、令和4年7月5日、山梨地方最低賃金審議会において付託された山梨県最低賃金の改正決定について、慎重に調査審議を重ねた結果、別紙のとおり結論に達したので報告する。

なお、本件の審議に当たった専門部会の委員は下記のとおりである。

記。

公益代表委員、伊藤一帆、今井幸一、反田一富。

労働者代表委員、小林賢、佐々木琢郎、白倉範人。

使用者代表委員、一之瀬滋輝、川島英一、長谷川正一郎。

敬称は省略させていただきました。

1枚めくっていただきまして、別紙になります。

山梨県最低賃金を次のとおり改正決定すること。

1、適用する地域、山梨県の区域。

2、適用する使用者、前号の地域内で事業を営む使用者。

3、適用する労働者、前号の使用者に使用される労働者。

4、前号の労働者に係る最低賃金額、1時間、898円。

5、この最低賃金において賃金に算入しないもの、精皆勤手当、通勤手当及び家族手当。

6、効力発生の日、法定どおり。

1枚めくっていただきまして、山梨県最低賃金の改正決定審議経過の概要でございます。

専門部会につきましては、第1回を7月22日に開催いたしまして、部会長、部会長代理の選出を行い、審議日程、最低賃金等の状況及び労使からの意見聴取結果について御審議いただきました。

第2回目を8月5日に開催し、県内の賃金等の状況について御審議いただき、労使双方から基本的見解について発表いただきました。

第3回目を8月9日に開催し、金額審議を行いました。

そして本日、8月12日、第4回目を開催いたしまして、金額審議を行っていただいた結果、多数決により決議いただきました。

参考としまして、本審についてですが、第1回目を7月5日に開催し、山梨県最低賃金の改正決定の諮問の受理を行い、また、山梨県最低賃金専門部会を設置しました。

第2回目を8月5日に開催し、目安の伝達を行い、また、賃金実態調査結果等及び労使からの意見聴取結果について御審議いただきました。

以上でございます。

(反田部会長)

それでは、この報告文案で本審に報告したいと思いますが、何か御意見はございますか。

(各側委員)
(異議なし)

(反田部会長)
ありがとうございます。
御了承いただきましたので、本案にて本審に報告することとします。

【 (2) その他 】

(反田部会長)
それでは次に議事の (2) その他に入りますが、何かございますか。

(各側委員)
(意見等なし。)

(反田部会長)
それでは、事務局からお願いします。

(賃金室長)
本日採決が行われましたので、予備日といたしまして、8月23日の午前9時から一応予定に入れておりました第5回の専門部会は中止となります。
なお、8月23日は、午前11時から、KKRニュー芙蓉におきまして第3回の本審が開催され、会長から労働局長が答申をいただくこととなります。
当日の御出席もよろしくお願いいたします。
以上でございます。

(反田部会長)
ありがとうございます。
以上で、第4回目の専門部会を終了します。
また、当専門部会における全ての審議を終了したこととなります。
本日の議事録の確認ですが、白倉委員と一之瀬委員にお願いします。
よろしくお願いいたします。
長時間にわたる審議、本当にお疲れ様でした。
ありがとうございました。